

合格体験記

Aさん

進学先：上智大学 法学部 法律学科

私は学力試験のほかに小論文の試験も受けたのでその二つについて書きたいと思います。

まず、文系の私が学力試験を受験するうえで薦めることは三つあります。

一つ目は、文系は現代文を学ぶべきであるということです。私自身高二まで現代文は勘で解いており、問題との相性が一番大切なのだと思っていましたが、英語や社会と同じように本文と設問を照らし合わせて矛盾があるかどうか判断することで解くことが出来ます。是非早いうちから参考書や学習動画等で取り掛かって文章に慣れてください。

二つ目は、単語の勉強をとにかくやり続けることです。私はこれで苦勞しました。特に英語は単語が分からないと高得点を狙うのは難しいです。逆に単語さえしっかり押さえておけば後は演習で身に付くと思います。

三つ目は模試等で間違えた問題や分からなかった問題をまとめるノートを作ることです。これを空いている時間に見返すことで自分がいつもどんな問題でミスをするのかが良く分かります。

次にレポートや小論文についてです。私は第一志望を受験する際にレポートと自己推薦書の提出が必要で、当日の試験は小論文と面接でした。これらを進めるには法律の知識も身につけていかないといけなかったので、勉強と両立するのが大変でした。また、私は文章を書くのが苦にならないのですが、そんな私でも辛かったので文章を書くのが苦手な人は覚悟が必要かもしれません。

高二的冬まで全く志望校が決まらず、なんとなく国公立志望でした。担任の先生に何度も「大変な道だけど本当に推薦を受験するのか」と確認されました。受験勉強している間も毎日泣き事ばかり言っていました。そんな私ですが受験を決めた瞬間から絶対に諦めませんでした。志望校を決めるまでは幾ら悩んだって良いと思います。ですが、決めたならどれだけ受かる自信がなくても自分の決断を信じましょう。地獄を走り抜ける覚悟ができればあとは進むだけです。皆さんのことを応援しています。

Nさん

進学先：三重大学 医学部 看護学科

私が受験を通して大切だと思ったことは2つあります。

1つ目は、毎日少しでも勉強をする習慣をつけておくことです。私は高2の冬まで部活をしていて、それまで毎日自主的な勉強時間を取っておらず、テスト週間にだけ必死に勉強をしていました。そこで、高2の3学期から毎日必ず勉強をするようにしました。その結果、毎日継続することで習慣の1つになり本格的な受験勉強をし始める高3から、スムーズに受験勉強に入ることができました。自分に合った勉強法を見つけておくのもおすすめです。

2つ目は、自分が頼れる人を見つけることです。担任の先生でも部活の顧問の先生でも塾の先生でも誰でもいいです。受験をする際、志望理由書を書いたり面接練習をしたりする必要があることがあります。また、不安になること等もあると思います。そんな時は必ず頼ってください。話をするだけでも楽になります。受験は自分一人のできるものではありません。困ったときは素直に相談することをおすすめします。

3つ目は、現状に満足せず常に成績を伸ばそうとすることです。模試の結果に一喜一憂することも良いですが、一番喜ぶのは大学に受かった時です。それまではなるべく気を抜かないようにしてください。大切なのは本番にどれだけいつも通りできるかです。もちろんモチベーションを保つことも大変だと思います。私は友達と励ましあったり、ささやかなご褒美を作ったりすることで保つことができました。自分に合った方法を探してみてください。

最後になりましたが、私がここまで頑張れたのは支えてくれた先生方や家族のおかげです。これから受験する人は感謝の気持ちを忘れないでください。そして最後まで諦めないでください。頑張った証はきちんと出ます。粘ったもの勝ちです。応援しています。

何事も楽しんで！